

平成 2 7 年度

環境調査報告書

幸 田 町

目 次

I 環 境 概 況	1
1 大 気 汚 染	
2 水 質 汚 濁	
3 騒 音	
II 本 編	
1 大 気 汚 染	2
1-1 一般大気環境測定結果	
1-2 有害大気汚染物質測定結果	
1-3 ダイオキシン類測定結果	
2 水 質 汚 濁	4
2-1 河川水質調査結果	
2-2 地下水調査結果	
2-3 工場排水調査結果	
3 騒 音	6
4 農薬汚染調査	6
III 資 料 編	
1 大 気 汚 染	7
2 水 質 汚 濁	16
2-1 河川水質調査結果	
2-2 地下水調査結果	
2-3 工場排水調査結果	
3 騒 音	44

用 語 集

I 環境概況

幸田町は、町民の健康的な暮らしとより良い生活環境保全のために、町内の大気汚染や水質汚濁の状況などの環境調査を継続的に実施している。

平成 27 年度環境調査の概況は以下のとおりである。

1 大気汚染（資料編：P7～15）

調査項目のうち、夏季の光化学オキシダント（1 時間値の最高値）が環境基準値を超過した。他項目は、環境基準値以下であった。

2 水質汚濁

(1) 河川水質（資料編：P16～36）

幸田町内の 12 河川 16 地点の水質検査を実施した。河川の生活環境の保全に係る項目では 2 地点・1 項目（水素イオン濃度）が環境基準値を超過した。

(2) 地下水水質（資料編：P37～40）

幸田町内の地下水 17 地点の水質検査を実施した。全 17 地点のうち 13 地点で水道水質基準値を超過した。

(3) 工場排水水質（資料編：P41～43）

工場・事業所排水は調査対象全 9 事業所のうち 1 事業所が排水基準値を超過した。

3 騒音（資料編：P44～51）

県道 292 号線沿線の測定地点（野場地内）では、昼間及び夜間区分ともに騒音レベルは環境基準値以下であった。

II 本 編

1 大気汚染

1-1 一般大気環境測定結果（資料編：P7～15）

大気汚染物質の汚染状況は、幸田町保健センターにおいて夏季（平成27年7月29日～8月5日）、冬季（平成28年1月20日～1月27日）に環境基準が定められている浮遊粒子状物質等5物質について測定を実施した。測定項目は浮遊粒子状物質、二酸化窒素、二酸化硫黄、一酸化炭素及び光化学オキシダントで、それら各項目の7日間の測定結果を環境基準値と比較した。その結果、夏季における光化学オキシダントが環境基準値を超過した。一般大気環境測定結果の概要を表II 1-1に示した。

表II 1-1 一般大気環境測定結果の概要

測定項目		測定結果		環境基準
		夏季	冬季	
浮遊粒子状物質	日平均	0.047mg/m ³	0.012mg/m ³	0.10mg/m ³ 以下
	1時間値の最高値	0.077mg/m ³	0.043mg/m ³	0.20mg/m ³ 以下
二酸化窒素	日平均	0.006ppm	0.016ppm	0.04～0.06ppm、又はそれ以下
	1時間値の最高値	0.023ppm	0.037ppm	—
二酸化硫黄	日平均	0.005ppm	0.003ppm	0.04ppm以下
	1時間値の最高値	0.017ppm	0.011ppm	0.1ppm以下
一酸化炭素	日平均	0.3ppm	0.4ppm	10ppm以下
	時間平均値	0.7ppm	1.1ppm	8時間平均値が20ppm以下
光化学オキシダント	日平均	0.045ppm	0.021ppm	—
	1時間値の最高値	0.110ppm	0.042ppm	0.06ppm以下

1-2 有害大気汚染物質測定結果

継続的に摂取された場合に発生の懸念がされる健康被害を未然に防止するため、幸田町保健センターにおいて夏季及び冬季に環境基準が定められている有害大気汚染物質（ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタン）について測定を実施した。測定項目はで、それらの各項目の日平均測定結果を環境基準値（年平均値）と比較した。その結果、全項目が環境基準値以下であった。有害大気汚染物質測定結果の概要を表II 1-2に示した。

表II 1-2 有害大気汚染物質測定結果

測定項目	測定結果(夏季)	測定結果(冬季)	基準値
ベンゼン	0.00031mg/m ³	0.0013mg/m ³	年間平均値:0.003mg/m ³ 以下
トリクロロエチレン	0.0001mg/m ³ 未満	0.0004mg/m ³	年間平均値:0.2mg/m ³ 以下
テトラクロロエチレン	0.00006mg/m ³	0.00009mg/m ³	年間平均値:0.2mg/m ³ 以下
ジクロロメタン	0.00093mg/m ³	0.0013mg/m ³	年間平均値:0.15mg/m ³ 以下

1-3 ダイオキシン類測定結果

幸田町保健センター屋上において夏季（平成 27 年 7 月 29 日～8 月 5 日）、冬季（平成 28 年 1 月 20 日～1 月 27 日）に 7 日間連続で環境大気を採取し測定を実施した。その測定結果と環境基準値とを比較した結果、大気中ダイオキシン類濃度は、環境基準値（年平均値：0.6 pg-TEQ/m³）以下であった。ダイオキシン類測定結果を表 II 1-3 に示した。

表 II 1-3 ダイオキシン類測定結果

	ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	環境基準値 (pg-TEQ/m ³)
夏季	0.021	0.6
冬季	0.026	0.6

2 水質汚濁

2-1 河川水質調査結果 (資料編：P16～36)

幸田町内の12河川16地点の水質調査(平成27年9月及び10月 計2回)を実施した。

今回の調査対象河川には生活環境項目に関わる環境基準が設定されていないため、広田川下流の矢作古川全域に設定されている環境基準(河川C類型)と調査結果を比較した。16地点のうち、次の表に示す地点で水素イオン濃度が環境基準値(河川C類型)を達成していなかったが、その他の地点は生活環境項目において環境基準値を達成した。河川環境基準超過地点を表Ⅱ2-1に示した。

表Ⅱ2-1 河川環境基準超過地点

調査地点及び 調査実施日	項目	測定結果	環境基準値 (河川C類型)
田多美川(赤川宅裏橋) 平成27年9月29日	水素イオン濃度	9.3	6.5以上8.5以下
田多美川(赤川宅裏橋) 平成27年10月21日	水素イオン濃度	9.1	6.5以上8.5以下
前田川(前田橋) 平成27年10月21日	水素イオン濃度	9.7	6.5以上8.5以下

2-2 地下水調査結果 (資料編：P37～40)

幸田町内の個人住宅14箇所・事業所1箇所・公共施設1箇所・上水ポンプ場1箇所(計17箇所)の地下水について、地下水環境基準項目及び水道水質基準項目の調査を実施した。その結果を水道水質基準値と比較した。水道水質基準値を超過した調査地点及び項目を表Ⅱ2-2地下水調査結果の概要に示した。また、計17調査地点のうち②荻、⑤幸田学区、⑥幸田学区、⑦荻谷学区の4地点は水道水質基準値を満足した。

表Ⅱ2-2 地下水調査結果の概要（水道水質基準項目超過地点及びその項目）

調査地点	検査項目	単位	検査結果	水道水質基準
①簡易上水道ポンプ場	一般細菌	個/ml	910	100以下
	大腸菌	—	(+)	検出されないこと
③坂崎学区	マンガン及びその化合物	mg/L	0.15	0.05以下
	pH値	—	5.5	5.8～8.6
④坂崎学区	一般細菌	個/ml	330	100以下
	大腸菌	—	(+)	検出されないこと
	鉄及びその化合物	mg/L	1.8	0.3以下
	色度	度	59	5以下
	濁度	度	4.2	2以下
⑧中央学区	マンガン及びその化合物	mg/L	0.69	0.05以下
	pH値	—	5.5	5.8～8.6
⑨中央学区	一般細菌	個/ml	700	100以下
	鉄及びその化合物	mg/L	1.4	0.3以下
	色度	度	46	5以下
	濁度	度	3.0	2以下
⑩豊坂学区	一般細菌	個/ml	290	100以下
⑪深溝学区	一般細菌	個/ml	640	100以下
⑫深溝学区	一般細菌	個/ml	250	100以下
	pH値	—	5.7	5.8～8.6
⑬深溝学区	一般細菌	個/ml	120	100以下
	pH値	—	5.6	5.8～8.6
⑭豊坂学区	一般細菌	個/ml	270	100以下
	マンガン及びその化合物	mg/L	0.059	0.05以下
⑮豊坂学区	一般細菌	個/ml	620	100以下
	マンガン及びその化合物	mg/L	0.39	0.05以下
	pH値	—	5.6	5.8～8.6
	色度	度	5.1	5以下
	濁度	度	2.4	2以下
⑯健康の道 沢水(荻)	大腸菌	—	(+)	検出されないこと
⑰町内事業所	一般細菌	個/ml	310	100以下

2-3 工場排水（資料編：P41～43）

幸田町内の事業所9箇所（㈱デンソー 西尾製作所、ブリストルマイヤーズ㈱愛知工場、ソニーイーエムシーエス㈱東海テック、㈱アピックス、幸南工業㈱幸田工場、三輪晒染㈱、金星工業㈱幸田工場、三ヶ根クリニック、フィール幸田店）から排出される排水の水質検査を実施した。水質検査の結果、1事業所が排水基準値を超過した。

3 騒音 (資料編：P44～51)

県道 292 号線沿 (野場地内) において騒音調査 (平成 27 年 12 月 14 日～12 月 19 日) を実施した。道路交通騒音調査結果を表 II 3-1 に示した。測定結果 (測定期間平均値) は、昼間及び夜間ともに環境基準値以下であった。

表 II 3-1 道路交通騒音調査結果

時間区分	測定結果	環境基準
昼間 (午前 6 時～午後 10 時)	70 dB	70 dB
夜間 (午後 10 時～午前 6 時)	65 dB	65 dB

4 農薬汚染調査 (ゴルフ場)

葵カントリークラブ内の調整池 1 地点において農薬汚染水質調査を実施した。水質検査の結果、ゴルフ場農薬暫定指針値以下であった。

表 II 4-1 葵カントリークラブ 平岩池 水質検査結果

水質検査項目	水質検査結果	指針値
ダイアジノン (殺虫剤)	0.005mg/L 未満	0.05mg/L
オキシシン銅 (殺菌剤)	0.04 mg/L 未満	0.4 mg/L
チオファネートメタル	0.3 mg/L 未満	3 mg/L
バリダマイシン	1 mg/L 未満	12 mg/L
ボスカリド	0.1 mg/L 未満	1.1 mg/L
プロピザミド	0.05 mg/L 未満	0.5 mg/L